

特集 秋の全国交通安全運動

改めて基本ルール徹底

下げ止まり

事故件数・死者数

令和8年「秋の全国交通安全運動」が21日から10日間の日程でスタートする。①歩行者の安全確保と反射材用品の普及②夕暮れ時の早期ライト点灯と飲酒運転、ながらスマホの根絶③自転車・特定小

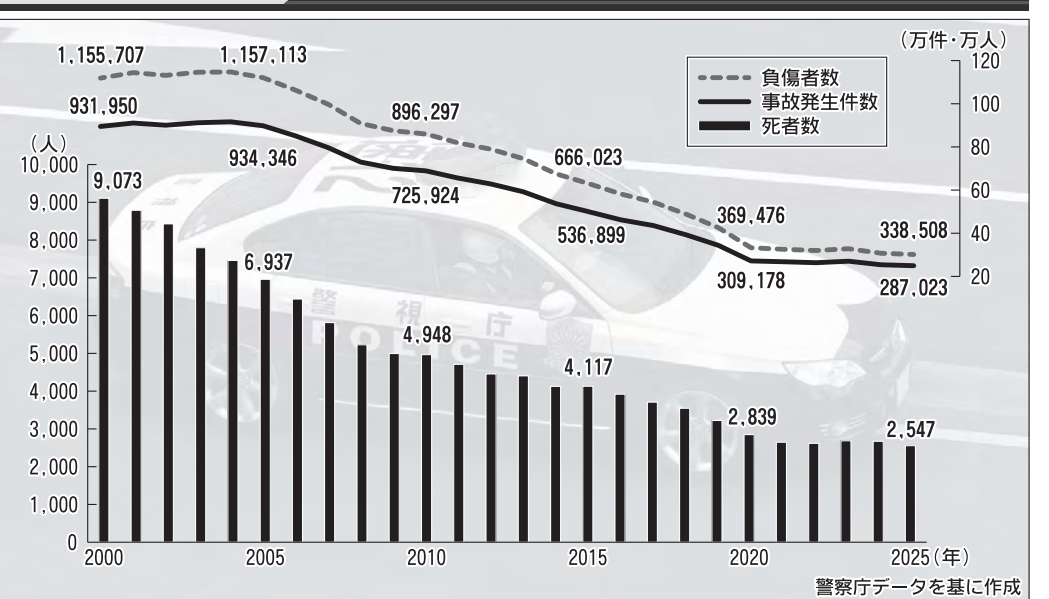
型原付自転車の交通ルール順守が全国重点だが、1日から生活道路の法定速度が時速60キロから同30キロに見直されたこともトピックだ。ドライバーの理解度をより深めることも実効性を左右する。

交通事故死者を状態別(〇)が確認されている実態と「歩行中」が全体の34.9%(2025年暦年、以下同)と最も高い。中でも高齢者(65歳以上)が約7割を占める。また、歩行者死者の半数以上は何らかの違反(信号無視、斜め横断な

い色の衣服や反射材用品の着用も呼びかける。危険性・周知を「ながらスマホ」による事故は依然として後を絶たない。合わせて6人が死亡した3月の新名神高速における追突事故では、トラック運転手がシ

今年4月、自転車に「青切符制度」が導入された。警察庁によると、6月末までの3カ月で7159件の青切符が交付された。違反別では「ながら運転」が2812件、「一時不停止」が2706件、この2つの違反だけで全体の8割近くを占めた。

国内の交通事故推移



再び減らしていくために



また、特定小型原付による事故は1〜6月で182件と、前年同期と比べ19件増えた。事故は午前8〜10時台に多いが、深夜(0〜2時)に起きた事故では、約半数に飲酒が見つかった。ちなみに原付と秋の2回開催になった。その後、事故件数や死者数は減り続けてきたが、ここ数年は横ばいだ。再び死者を減らすためにも、関係機関が連携した地道な取り組みが求められる。

た、衝突時の車両の速度が時速30キロを超えると歩行者の致死率が跳ね上がることも、これまでの研究で分かっている。たとえ衝突が避けられなかったとしても、時速30キロなら歩行者の命が助かる可能性が高まるというわけだ。

警察庁と各都道府県警は速度見直しの周知や取り締まりを進める方針。一方でドライバー側も速度と死亡率の関係を理解したり、生活道路では歩行者や自転車利用者を優先させる意識を持つ必要がある。

生活道路 法定速度30キロ

5月(未満)を指すという。こうした生活道路では、標識や道路標示の定めがない限り、法定速度は時速60キロだった。一般道路の法定速度が一律で時速60キロだったから、もちろん、事故が多かったり、学校が近くにあるなど事情に応じた速度制

るわけではなく、中央線や中央分離帯がある道路の衝突による衝撃力は車重に比例するが、速度の場合は2乗に比例して大きくなる。つまり、時速30キロから同60キロになると衝突力は2倍ではなく4倍になる。また、

60キロから引き下げ

「人優先」の意識浸透を



は車重に比例するが、速度の場合は2乗に比例して大きくなる。つまり、時速30キロから同60キロになると衝突力は2倍ではなく4倍になる。また、

た、衝突時の車両の速度が時速30キロを超えると歩行者の致死率が跳ね上がることも、これまでの研究で分かっている。たとえ衝突が避けられなかったとしても、時速30キロなら歩行者の命が助かる可能性が高まるというわけだ。

警察庁と各都道府県警は速度見直しの周知や取り締まりを進める方針。一方でドライバー側も速度と死亡率の関係を理解したり、生活道路では歩行者や自転車利用者を優先させる意識を持つ必要がある。

2026年 秋の全国交通安全運動

9月21日(月) ~30日(水)

一般社団法人 日本自動車車体工業会

会長 長富山 隆

副会長 長石川 洋之

専務理事 小森 啓一

電話 〇三(三三七八)一六八一

一般社団法人 日本自動車部品工業会

会長 長矢野 彰

副会長 長石川 洋之

専務理事 小森 啓一

電話 〇三(三三七八)一六八一

一般社団法人 日本自動車機械器具工業会

会長 長丸山 将一

副理事長 三木 健太郎

副理事長 山田 昌太郎

電話 〇三(三三七八)一六八一

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

会長 長高田 靖久

電話 〇三(三三七八)一六八一

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会

会長 長喜谷 辰夫

専務理事 島 雅之

電話 〇三(三三七八)一六八一

公益財団法人 交通遺児育英会

会長 長石橋 健一

電話 〇三(三三七八)一六八一

一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会

会長 長石橋 健一

副会長 長石川 洋之

専務理事 小森 啓一

電話 〇三(三三七八)一六八一

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会

会長 倉石 誠司

電話 〇三(三三七八)一六八一

公益社団法人 日本バス協会

会長 長清水 一郎

専務理事 島 雅之

電話 〇三(三三七八)一六八一

一般社団法人 自動車用品小売業協会

会長 長小林 喜夫巳

電話 〇三(三三七八)一六八一



日本自動車販売協会連合会

自動車販売業界は、クルマを販売するだけでなく、安全なモビリティ社会の実現に向けた役割も担っている。日本自動車販売協会連合会(高田靖久会長)の各支部では、地域の警察や自治体、関係団体と連携し、交通安全活動を継続的に展開している。

全国交通安全運動に合わせた街頭啓発では、交通安全グッズの配布やチラシの配布などを通じ、ドライバーや歩行者に安全運転を呼び掛けている。また、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室、交通安全イベントへの参加、シートベルト着用や飲酒運転根絶を呼び掛けるキャンペーンなど、幅広い活動を行っている。

街頭で安全運転呼びかけ グッズやチラシ配布

実際に体験してもらう取り組みも進めている。地域の交通安全活動に向け、業界を挙げて取り組みを続けていく。

実際に体験してもらう取り組みも進めている。地域の交通安全活動に向け、業界を挙げて取り組みを続けていく。

日本自動車会議所



日本自動車会議所(豊田章男会長)は、交通安全の普及・啓発を重要な活動の一つに位置付け、さまざまな取り組みを展開している。

恒例の安全啓発イベント 38団体・企業が参加

への意識を高めることが求められている。

その取り組みの一環として、警視庁新宿警察署と共催で、体験型交通安全啓発イベント「交通安全アクション2026」を開催した。会員団体をはじめ38の団体・企業などが参加し、2日間で約4千人が訪れた。高齢者や幼児・児童を重点対象に、交通安全のルールや安全行動の大切さを楽しく学べる12の体験型ブースを用意した。

会場では、交通安全シミュレータや自転車の安全利用に関する体験、反射材の効果体験、子ども向けの塗り絵などを実施。さらに、交通安全教室や交通標識シンゴ大会などを行い、幅広い世代が交通安全について考える機会を提供した。同会議所は今後もこうした活動を通じて、交通安全意識の向上に取り組んでいく。

自動車関係団体 交通安全の取り組み

日本自動車連盟(JAF)

日本自動車連盟(JAF、坂口正芳会長)は、夜間に路上で横たわっている人の車を横断してしまう「路上横臥」の危険性を、動画で検証・解説した。

この動画は、2025年10月に公開した。動画では、JAFの公式チャンネル「教えて!JAF先生」で、路上横臥の危険性を解説している。動画は、JAFの公式チャンネル「教えて!JAF先生」で、路上横臥の危険性を解説している。

「路上横臥み」は危険! 動画で検証・解説

テストでは、直前までマネキンを認識することができず、事故になるケースや、回避できなかったものの、急ブレーキとなり安全な停止とはいかない結果だった。またハイビームの方が早くマネキンを発見でき、ロビームよりも手前で停止することができた。これらの結果を踏まえ、夜間は速度を抑え、前を走る車や対向車に配慮したうえで、ハイビームを有効に活用することを推奨している。

動画は、JAFの公式チャンネル「教えて!JAF先生」で、路上横臥の危険性を解説している。動画は、JAFの公式チャンネル「教えて!JAF先生」で、路上横臥の危険性を解説している。

日本中古自動車販売協会連合会/同商工組合連合会

少しでも交通遺児の役に 今年も寄付金

日本中古自動車販売協会連合会・同商工組合連合会(JU中販連・同中商連)は、毎年1月に開催する理人会で交通安全啓発活動を実施している。今年も、自動車業界で中古車の健全な流通に取り組みを継続していく方針だ。

2026年1月も実施した交通安全の啓発活動をはじめとした社会貢献活動を実施している。今年も、自動車業界で中古車の健全な流通に取り組みを継続していく方針だ。



自転車であっても、酒気帯び運転は処罰の対象となります。

★酒気帯び(政令数値0.15mg/l以上) → 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金。 ※幫助行為も対象となります。

自転車での通勤やお出かけも、お酒が残っていないか、アルコール検知器で確認してください

アルコール検知器なら、高品質・高実績のソシアックシリーズ

ソシアックシリーズは

- ① 高品質、使いやすさ等から、50,000以上の各協会・官公庁・企業様が採用。
- ② 警察の飲酒検問(第一次検査用)にも採用されている品質と信頼性。
- ③ 業務用検知器として、センサー交換や修理等のアフターサービスも万全。
- ④ パーソナルタイプからプロ仕様まで、ニーズに合わせて選べるラインナップ。

SC-103
Sociac
アルコール検知器
ソシアック
アルコール検知器協会
認定番号 JB10001-19

SC-202
Sociac
アルコール検知器
ソシアック・エクス
アルコール検知器協会
認定番号 JB10001-20

SC-402
Sociac
アルコール検知器
ソシアック・アルファ
アルコール検知器協会
認定番号 JB10001-12

SC-403
Sociac
アルコール検知器
ソシアック・アルファ・ネクスト
アルコール検知器協会
認定番号 JB10001-13

SC-302
Sociac
アルコール検知器
ソシアック・プロ
アルコール検知器協会
認定番号 JB10001-21

インターロック、自動点呼などDXに求められる
厳しい規格に対応した高精度アルコール検知器

インターロック、自動点呼などDX対応機種

A-HAM
DXIL-2026-001
NEB-601
アルコール検知器
ネオブルー
NEO BLUE
アルコール検知器協会
認定番号 JB10001-35

A-HAM
DXIL-2026-002
SC-502
アルコール検知器
ソシアック・ネオ
アルコール検知器協会
認定番号 JB10001-30

A-HAM認定とは一般社団法人 計測健康啓発協会(A-HAM)が定める、DXに対応した、自動点呼・遠隔点呼・IT点呼・インターロックとの連動を考慮したアルコール検知器の規格。

日本二輪車普及安全協会

日本二輪車普及安全協会（日本二普協、倉石誠司会長）は、秋の交通安全運動と連動して、9月11日から30日までの20日間、「第51回二輪車安全運転推進運動」を実施する。



同運動は、自動二輪車及び原動機付自転車を利用する者の安全を確保し、安全で快適な二輪車の社会を構築するため、関係省庁・団体の後援を得て、家庭・学校・職場・関係諸団体と連絡を密にし、二輪車の交通事故を防ぎ、安全の確保を図ることを目的として、毎年9

5年中の二輪車死亡事故の約70%が頭部と胸部損傷であり、内訳として約38%が頭部、約32%が胸部（警察庁調べ）とされている。頭部損傷ではヘルメットのおごりが正しく装着しておらず、衝突時にヘルメットが脱落してしまうケースが約38%との統計も出ている。

ヘルメット、胸部プロテクター 正しい着用を発信

同協会では「ヘルメットあごひも しっかりしてプロテクターで胸部を守ろう」を統一のテーマとしてヘルメットの正しい着用方法、胸部用プロテクターの着用を推進している。また、より初心者に寄り添った実技講習会「ベーシッククライディングレッスン」を開催。安全運転技術の向上と交通法規、マナーの順守を目的とした初心者向けのレバレッジや最近増加している女性やリタイアライダーへの安全意識・スキル向上を促している。

中央自動車工業

アルコール検知器「ソシアック・ネオ／ネオブルー」

幅広いラインアップアフターも万全

中央自動車工業は、高品質のアルコール検知器「ソシアック」シリーズを2002年から販売してきた。用途に応じて幅広くラインアップし、信頼性の高さと



使いやすいに高い評価を得てきた。自動車関連団体をはじめ官公庁、地方自治体や一般企業など5万社を超える採用実績を持つ。警察の飲酒検問（第一次検査用）にも採用され、ソシアックをベースにした飲酒検問用アルコール検知器が100以上の警察署で使用されている。

同社では、飲酒運転の根絶と企業の社会的信用失墜を避けるため、アルコール検知器の使用の必要性を全日本交通安全協会との連名チラシなどで訴求している。ラインアップの充実で「用途と規模に応

インターネットなど 多様なシステムと連携可能

アルกอฮอล์チェックの結果をクラウドシステムなどで管理したいとの声を多くの企業から受け、フルトウズを搭載し、さまざまなクラウドシステムとの連動を可能とした。また、電気化学式センサーの搭載で、アルコール以外の成分に影響を受けにくい反応精度を発揮する。徹底した品質管理によるセンサー寿命の長期化（1年6カ月または1万回）も実現している。

ソシアック・ネオは、国土交通省が定める乗務後自動点呼機器認定を取得した自動点呼システムや、アルコールの反応でエンジンが始動できなくなるインターロックシステムなどの対応機種となっている。そのほかネオブルーなども含め、同社の製品は30社以上でシステム連動する対応機種に採用されており、品質と信頼性の高さを裏付ける。

製品の信頼性では、ソシアックシリーズ全機種、およびネオブルーについても、アルコール検知器協議会の検定制（試験機関—第三者機関の化学物質評価研究機構・CER I）で認定合格証を取得している。

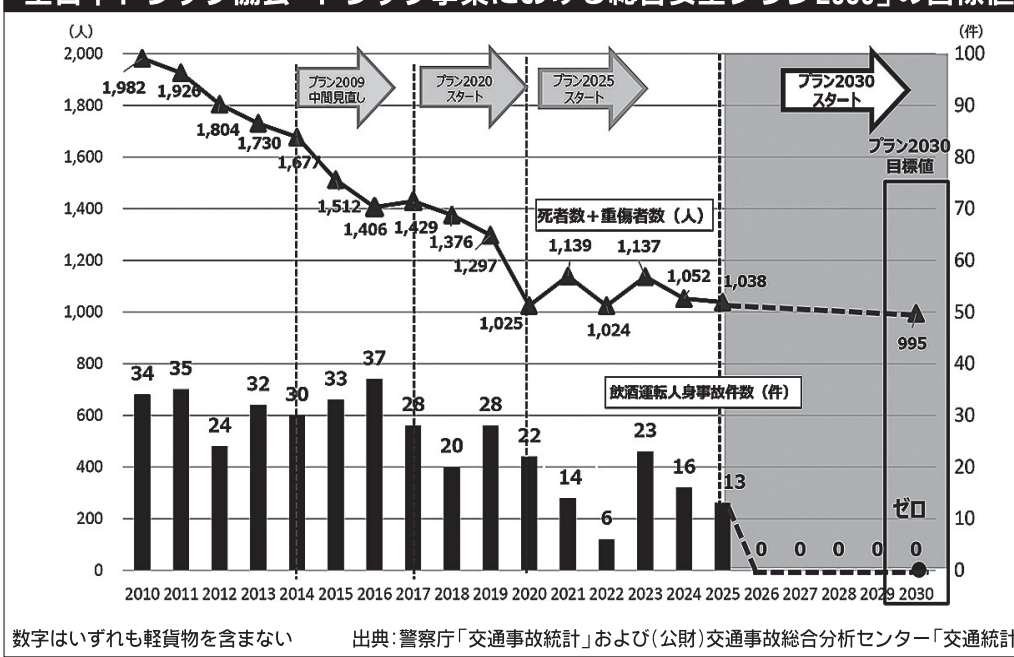
全日本トラック協会

全日本トラック協会（全ト協、寺岡洋一会長）は秋の全国交通安全運動に基づき実施計画をまとめ、全国都道府県トラック協会を通じて、本運動を効果的に実施する。重点項目として「飲酒運転の根絶」「追突事故及び交差点における事故の防止」「携帯・スマートフォンの使用禁止等運転マナーの徹底」を掲げた。また国の「交通事故ゼロを目指す日」（9月30日）を「事業用トラックの交通事故ゼロを目指す日」と定めた。飲酒運転根絶に向けては全ト協が作成した「飲酒運転防止対策マニュアル」を活用し、ドライバーに対するアルコール検知器の携行、酒気帯びの有無の測定方法及び測定結果の確実な報告、また飲酒運転しないことの宣言書署名活動を通じて達成に向けた機運を高める。

重点項目 ながらスマホ禁止や飲酒運転根絶

人身事故件数5800件以下、追突事故件数3800件以下などの目標を掲げている。これらの目標値達成のため、高速道路上の死傷事故の6割を占める「追突事故」、一般道路上の死傷事故の約4割を占める「交差点事故」など、事業用トラックの特徴的な交通事故実態に

全日本トラック協会「トラック事業における総合安全プラン2030」の目標値



数字はいずれも軽貨物を含まない 出典：警察庁「交通事故統計」および(公財)交通事故総合分析センター「交通統計」

オートアフターマーケット活性化連合



4月28日(ヨイッヤ)と11月28日(イイッヤ)は洗車の日。オートアフターマーケット活性化連合(AALL、住野公一代表)の洗車の日委員会(宮内秀樹

「洗車の日」認知拡大へ 多彩な訴求活動

委員長)は「洗車の日」の認知拡大に向け、さまざまな訴求活動を推進する。洗車用品の販促だけでなく、洗車を通して気づく傷などを含み点検のきっかけにしたいとの思いから、語呂に合せて制定された。同委員会では毎年春に日本自動車会議所と新宿警察署が主催する「交通安全アクション」への参加を通じて、洗車と交通安全について、周知を行う。また、毎年1月に開催される「東京オートサロン」では、洗車の日委員会に所属するメーカーが集まる洗車関連ブース(洗車村)を展開する。AALL洗車の日ブースでは洗車の日を来場者に向けてPRし、アンケートへの回答者には洗車グッズをプレゼントすることでアピールにつけている。そのほか、委員会メンバーらが洗車の日はてんを羽織り、会場内を練り歩くPRイベントも行っている。

「お先にどうぞ」から始まる「思いやりティドライブ」横断歩道をわたる人がいたら、「一時停止」をお願いします。

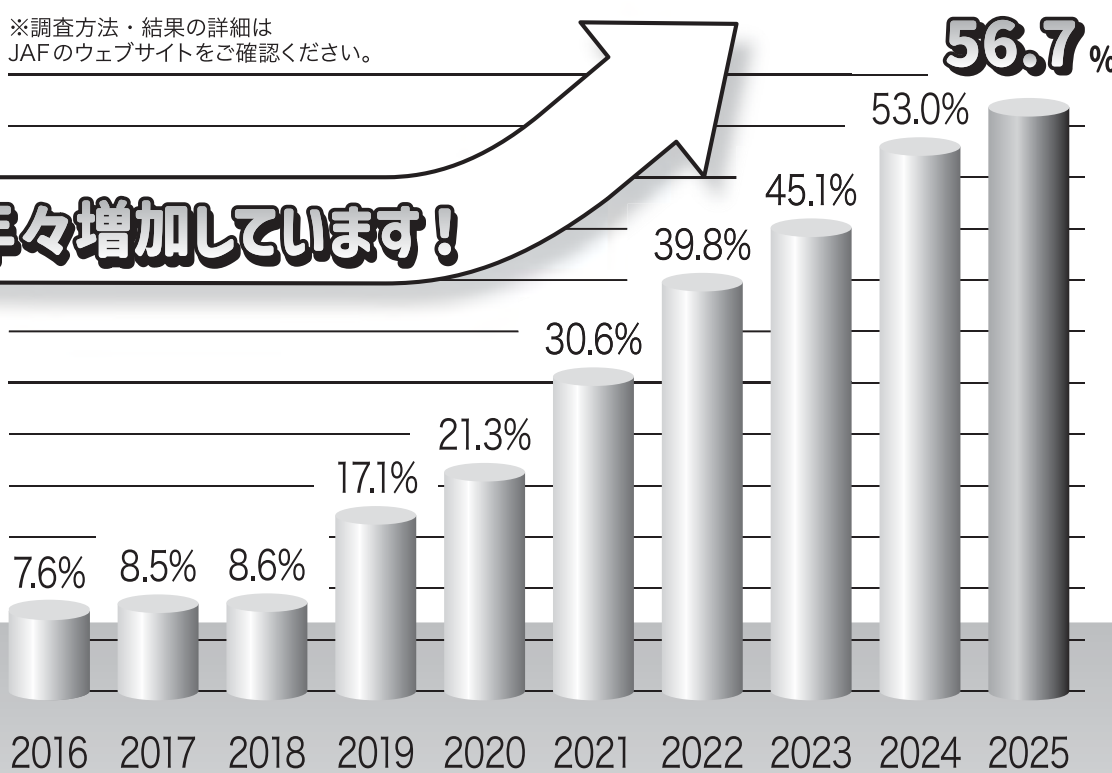
今年で11年目を迎えたJAFの「思いやりティドライブ」プロジェクト。データによれば歩行者が待つ信号機のない横断歩道で一時停止するクルマは年々増えてきましたが、未だ4割以上のクルマが停止していません。「安全で、笑顔あふれる交通社会」を実現するために、みなさんのご賛同とご協力を引き続きお願いします。

お先にどうぞ



※イラストはイメージです

歩行者が待つ信号機のない横断歩道で一時停止したクルマの割合



年々増加しています！

※調査方法・結果の詳細はJAFのウェブサイトをご確認ください。

JAF



一人ひとりの心の中に

Omoiyalty Drive

思いやりティドライブ



詳細は特設ウェブサイトをご覧ください

JAF 思いやりティ

検索

〒105-0012
東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館
TEL.03-3578-3880 FAX.03-3578-3883
<https://www.aba-j.or.jp/>

<https://jta.or.jp>